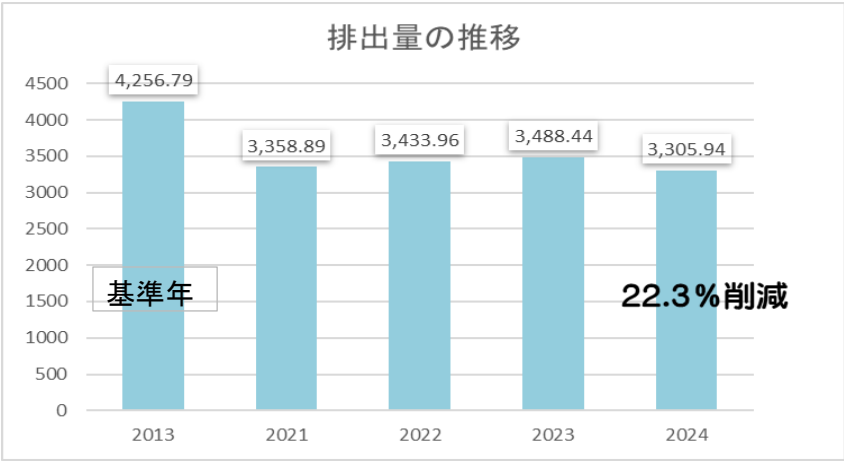


2024年度事務事業 CO₂排出量の削減状況



R3. 3月策定 第一次計画目標
2013年比 2025年8%削減 達成済

R7. 1月策定 第二次計画目標
2013年比 2030年 70.6%削減目標

エネルギー使用量の推移に関する総括（2013年度比・2024年度）

※LAPSS入力データより

	2013	2023	2024	増減率 2013年比 (※2013年データが ない項目については 前年比)	増減理由
電力 kwh	4,292,305	4,734,286	4,829,173	12.5%	本庁舎、学校給食共同調理場、町湯による使用量の増加
都市ガス m ³	295,469	434,123	475,775	61.0%	灯油、重油から都市ガスへの切り替え
灯油 ℓ	146,040	40,815	40,950	-72.0%	灯油、重油から都市ガスへの切り替え
重油 ℓ	28,556	0	42,200	47.8%	過年度種苗センター報告漏れ
木質ペレット kg		131,632	117,600	-10.7%	北月山荘。加温時間の短縮等
LPGガス kg	1,734	457	479	-72.4%	使用施設の減少。
ガソリン ℓ	45,321	36,604	33,763	-25.5%	会議、研修のWeb参加増加等による減少
軽油 ℓ	190,287	56,250	66,335	-65.1%	除雪車の燃料が業者負担となった。軽油車両の減少
天然ガス車走行 km	1,883			-100.0%	
ガソリン車走行 km	509,135	326,361	325,934	-36.0%	会議、研修のWeb参加増加等による減少
ハイブリッド車走行 km		36,544	36,386	-0.4%	車両更新時はハイブリッド車、PHV、EV等
軽油車走行 km	398,536	317,740	275,609	-13.3%	除雪車の燃料が業者負担となった。軽油車両の減少
水道 m ³		42,374	44,640	5.3%	
下水道 m ³		44,804	47,651	6.4%	
再生紙 枚		2,600,500	2,823,245	8.6%	
紙類回収量 kg		5,970	5,190	-13.1%	

エネルギー別CO₂排出量の推移 (t-CO2)

大項目名	2013	2023	2024	増減率	今後の対応
電気	2,575.4	2,258.3	1,859.0	-27.8%	使用量は増加しているが、東北電力の排出係数が2013年0.6kg/CO2-Kwhから0.385に低下したため減少。更なる削減のため、再エネ電力への切り替えを進める。
都市ガス	616.8	890.0	969.8	57.2%	高効率空調への更新
軽油	491.9	145.4	168.3	-65.8%	軽油からガソリン車、ハイブリッド車への切替え
重油	85.6		114.3	33.6%	種苗センター R6から報告
灯油	363.6	101.6	101.9	-72.0%	灯油、重油から都市ガスへの切り替え
ガソリン	105.2	85.0	79.8	-24.2%	公用車更新時、ハイブリッド、PHV、EVへの切替え
自動車の走行	7.8	5.2	4.4	-42.8%	会議、研修のWeb参加増加等による削減
LPG	10.6	3.1	4.5	-57.4%	
その他	0.0		3.8		
排出量合計	4,256.8	3,488.4	3,305.9	-22.3%	再エネ電力への切替えにより、大幅な削減を目指す。

CO₂排出量削減率上位

施設名	2013	2023	2024	基準年比	削減理由
月の沢温泉北月山荘 (ロッジ・ケビン・キャンプ場を合算)	239.24	62.93	56.57	-76.4%	木質ペレット、太陽光導入により大幅に削減。営業時間短縮。
立谷沢まちづくりセンター	21.76	10.15	7.98	-63.3%	冷暖房を灯油からLPガスに切り替え。LEDに切り替えた。
都市下水道施設	27.57	14.05	10.26	-62.8%	公共下水道への接続が大幅に進んだため。
消防車両(ガソリン)	6.24	2.05	2.84	-54.5%	操法大会がなくなったため。
農業集落排水施設	563.83	332.20	263.41	-53.3%	機械更新時は環境負荷の低いものに更新している。
屋内多目的運動場、第二多目的運動場(運動場除)	105.25	66.75	50.42	-52.1%	LEDに切り替えた。
立川水源 動力費	152.76	102.37	78.85	-48.4%	機械更新時は環境負荷の低いものに更新している。
公共下水道施設	75.20	62.81	50.16	-33.3%	機械更新時は環境負荷の低いものに更新している。

CO₂排出量増加率ワースト

施設名	2013	2023	2024	基準年比	増加の理由
学校給食共同調理場	53.00	114.96	103.95	96.0%	余目地域の自校式給食廃止により増加。再エネ電力への切り替えにより排出量を大幅に削減することが可能。
簡易水道施設	13.92	30.92	26.68	92.0%	簡易水道の施設ろ過装置、監視の計装装置が増えたため。
本庁舎	177.10	295.20	261.13	47.0%	新庁舎建設移転、R7年度から再エネ電力に切り替えたことで削減される見込み。